

# 組合だより ながの

## Vol.39

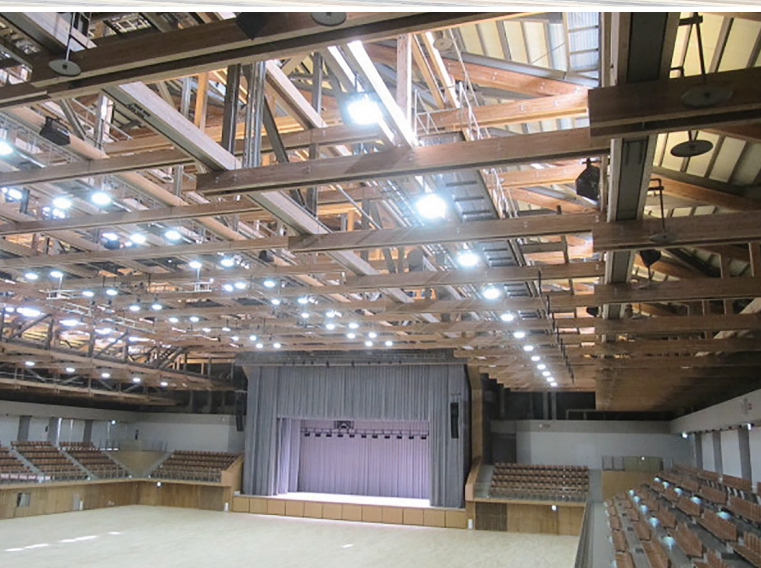
令和2年(2020)6月1日発行

### JForest 長野森林組合

〒380-0915 長野市大字稲葉字上千田沖134番地2  
TEL 026-217-8822(代表) FAX 026-219-2930  
E-mail: nagano-sinkumi@an.wakwak.com  
URL: http://park23.wakwak.com/~nagano-sinkumi/



長野県立武道館(外観) (関連記事 P4)



主道場

#### ●主な内容

第19回通常総代会開催/組合長理事、副組合長理事は新任、専務理事は再任/退任役員感謝状贈呈者・永年勤続被表彰者・全国森林組合連合会長表彰・新役員執行体制……2  
就任のご挨拶/退任のご挨拶/……3  
特集【長野県立武道館新築工事に携わりました/飯綱町産材で「いづなマルシェ むーちゃん」がオープンしました/高性能林業機械メンテナンス研修を開催しました】……4～5  
理事会開催/監事会開催/令和1年度損益計算書・令和2年度損益計画/令和1年度取扱実績/長野森林組合令和2年度重点項目……6  
フォレスト情報【安全衛生推進委員研修会を実施しました/令和2年度第1回安全衛生推進委員会を開催しました/木材市況】……7  
組合からのお知らせ/新人職員の紹介/土手の草刈り時の足場として円柱丸太を活用しませんか【西山事業所】/人事異動/編集後記……8



# 第19回通常総代会開催

令和2年度第19回通常総代会が、3月27日(金)午後2時より、長野市長野県自治会館において総代152名(本人46名、書面議決106名)の出席を頂き開催されました。



議長 長野市篠ノ井の 塚田総代様



全議案可決決定されました

冒頭 酒井組合長より、新型コロナウイルス感染症防止に万全の対策が求められている状況での総代会開催となったので、安全に配慮し行う旨をお願いの言葉がありました。昨年度は、本所・長野支所が新事務所からスタート出来た事、森林経営管理制度創設により新たな森林管理システムの構築と市町村への森林環境譲与税の譲与が始まったので組合も地域林業の活性化に取組んで来た事、10月の台風19号による大雨により千曲川流域の堤防決壊による氾濫や支流の内水氾濫が各所で発生し浸水による甚大な災害に見舞われた事、組合においても事業地へ通じる道路の崩壊により事業の年度内完了が心配される案件も発生した事、生産した木材の主要な出荷先である系統の長野県森林組合連合会北信木材センター(長野市穂保)も1mを超える浸水被害に見舞われ1ヶ月を超える浸水搬入が出来ない状況が発生した事、木材価格については、需要は高まって来ているが依然として満足のいく価格となっていないが、組合員皆様の森林を災害に強い健全な森林とするため、利用可能となった森林からの木材生産の効率化と低コスト・省力化を進め利益還元に努めた事、管内の木材を地域材として利用を進めるため公共建築物等への利用推進を図った事、本総代会で任期満了に伴う役員改選があるが本年度を持って退任するにあたり、組合員皆様に大変お世話になった旨の御礼の言葉もありました。

令和元年度は、主たる組合事業の組合員所有林の森林整備を森林経営計画を基に搬出間伐を中心に推進すると共に、機関造林事業(請負の森林整備)の入札にも積極的に参加し事業確保に努めました。また、木造公共建物建築案件や個人住宅リフォーム工事受注にも積極的に取組み木材利用の推進が出来た反面、食品加工事業では、新商品「にんにく味噌」を発売しましたが、既存商品の売上減が前年度より拡大し組合全体の事業推進に大きな影響を及ぼしました。総取扱高は16.66億円(計画比112%)となり、森林整備は778ha余を実施し、木材の取扱量は39,809m余を搬出しました。

た。森林経営計画樹立累計面積は11,827ha余となり管内民有林の約15%を樹立出来ました。議長には、長野市篠ノ井の塚田恭市氏を選出し、11議案すべて原案通り可決決定されました。第10号議案では、役員を選任が行われ、理事21名、監事3名が選任されました。来賓の、長野地域振興局局長代理佐藤林務課長、北信森林管理署中嶋署長からご祝辞を頂きました。議事終了後、組合長より今期退任される役員方に感謝状の贈呈、永年勤続職員への表彰状の授与・全国森林組合連合会会長表彰の伝達が行われました。受賞者を代表して柳澤 澄理事より謝辞を頂き、村石副組合長の言葉で閉会となりました。



## 組合長理事、副組 専務理事は再任

4月1日第1回理事会が開催されました。仮議長に西澤英治理事が選出され議事に入り、組合長理事に村石正郎理事が新任、副組合長理事に和田智理事が新任、専務理事に関野文夫理事が再任されました。

また、各支所事業所担当理事と総務・森林づくり推進・営業企画各専門委員会の正副委員長がそれぞれ選任されました。代表監事には、小林計正監事が再任されました。

### ◎ 退任役員感謝状贈呈者

- 理事 酒井 美明 (長野H13.2~R2.3)
- 理事 宮本 芳男 (長野H29.3~R2.3)
- 理事 寺嶋 利光 (長野H23.3~R2.3)
- 理事 佐藤 美好 (須高H29.3~R2.3)
- 理事 西原 澄夫 (須高H26.3~R2.3)
- 理事 柳澤 澄 (更埴H23.3~R2.3)
- 理事 関塚賢一郎 (北部H26.3~R2.3)
- 監事 塚田 鈴子 (更埴H29.3~R2.3)

### ◎ 永年勤続被表彰者

- 25年以上一般職員 須高支所長 丸山 和範
- 25年以上技能職員 須高支所 原 弘明
- 20年以上一般職員 総務課長補佐兼会計係長 葛口 幸枝
- 20年以上技能職員 長野支所 松澤 幸雄
- 20年以上技能職員 北部支所 上田 和幸
- 20年以上技能職員 更埴支所 栗原 秀雄
- 10年以上技能職員 更埴支所 内山 範彦
- 10年以上技能職員 須高支所 羽生田 新悟
- 10年以上技能職員 西山支所 松本 文明
- 10年以上技能職員 西山支所 三井 達成
- 10年以上技能職員 西山支所 丸山 勇吉

### ◎ 全国森林組合連合会会長表彰

- 総務課長補佐兼会計係長 葛口 幸枝
- 長野支所 技能職員 田中 徹
- 長野支所 技能職員 本間 達弘

### ◎ 新役員執行体制

- 代表理事組合長 村石 正郎 (須高地区)
- 副組合長理事 和田 智 (長野地区)
- 専務理事 関野 文夫 (学識経験)
- 理事(森林づくり推進専門委員) 松田 光久 (長野地区)
- 理事(営業企画専門委員) 西村 高貴 (長野地区)
- 理事(営業企画専門委員会委員長) 三澤 敏雄 (長野地区)
- 理事(長野地区担当理事)(総務専門委員) 瀧澤 肇 (長野地区)
- 理事(森林づくり推進専門委員会副委員長) 山岸 茂治 (長野地区)
- 理事(鬼無里地区担当理事)(営業企画専門委員) 宮下 一宏 (長野地区)
- 理事(須高地区担当理事)(営業企画専門委員) 竹前 清孝 (須高地区)

## 就任のご挨拶

代表理事組合長 村石 正郎



前組合長の酒井明様におかれましては、長年に渡り当組合の発展の為に、渾身のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本県の森林資源は、先人たちのためまぬ努力により育成が進められ本格的な利用期を迎えておりますが、長期に渡る木材価格の低迷や森林所有者の世代交代や過疎化の急速な進行により、自立的かつ継続的

に森林を管理する体制が失われていることも現実であります。

国は、森林整備の促進が喫緊の課題として、昨年度より森林環境譲与税を県及び市町村へ交付し、市町村が森林所有者から経営管理の委託を受け、持続可能な森林経営管理を進めて行く新しいシステムが始まりました。そこで地域の森林の現況を最も熟知している意欲のある林業事業者として、森林組合が実質的な担い手としての役割が期待されております。

当組合においても、今まで培ってきた技術と能力を発揮し、組合員及び地域の信頼に応える為に事業の実施に取り組んで参ります。

## 退任のご挨拶

前代表理事組合長 酒井 美明



組合員の皆様には、益々ご清祥のことと拝察致します。

さて、私こと、このたびの役員

改選により代表理事組合長を退任致しました。顧みますと、平成十三年二月の長野森林組合合併発足前の旧長野市森林組合から通算二十五年に渡り理事として森林組合の運営に携わりました。特に、平成二十八年二月に代表理事組合長を拝命し重責を担う事となりましたが、組合員の皆様をはじめ関係各機関の皆様の格別のご支援並びにご指導を賜る中で無事任期満了を迎えた事に深甚なる感謝を申し上げます。

さて、森林組合の運営については、

組合員のための組合を基本に森林の整備を進めておりますが、昨年の台風19号による災害状況を見ますと、災害に強い健全な森林の機能維持のため適切な森林管理の必要性を改めて実感すると共に、森林を守り育て活用する担い手としての森林組合の役割の重要性も実感したところであります。

後任の代表理事組合長である村石正郎氏は、これからの長野森林組合の事業運営を推進する卓越したリーダーであります。

必ずや組合発展に手腕を発揮されるものと確信致しておりますので、私に賜りました皆様のご支援を、同様に村石組合長にも頂きます様、心よりお願い申し上げます。

終わりに、組合員各位のご健勝を祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

## 就任のご挨拶

副組合長理事 和田 智



この度、副組合長理事を仰せつかりました長野地区の和田でございます。何分にも不慣れでございます。

で、組合員皆様方のご指導とご支援をお願い申し上げます。

さて、国土面積の7割・県土の8割を占める森林は、春夏秋冬それぞれに素晴らしい様相を呈し、日本人独特の感性と日本固有の文化を育んで参りました。また、国土保全や地球温暖化防止などの多面的機能を持し、その役目を充分発揮しております。

しかしながら、近年は、長期的な林業の低迷や世代交代等による森林への関心が薄れることを要因として

理事(森林づくり推進専門委員) 藤沢 勉 (須高地区)  
理事(総務専門委員会副委員長) 杉本 一三 (更埴地区)  
理事(更埴地区担当理事) (森林づくり推進専門委員)

理事(営業企画専門委員) 西澤 英治 (更埴地区)  
理事(森林づくり推進専門委員会委員長) 塚田 正平 (更埴地区)

理事(森林づくり推進専門委員) 廣田 忠夫 (西山地区)  
理事(営業企画専門委員) 戸矢崎光男 (西山地区)  
理事(西山地区担当理事) (総務専門委員) 小泉 栄正 (西山地区)

理事(営業企画専門委員会副委員長) 大日方茂木 (西山地区)  
理事(営業企画専門委員会副委員長) 荒井 博文 (北部地区)

理事(総務専門委員会委員長) 金井 達也 (北部地区)  
理事(北部地区担当理事) (森林づくり推進専門委員) 丸山喜美三 (北部地区)

代表監事 小林 計正 (長野地区)  
監事 櫻井 一正 (須高地区)  
監事 三水 弘好 (西山地区)

森林管理が適切に行われない事態も発生し、国土保全等の機能維持に支障を来す状況となっております。

このような環境変化の中、国は森林所有者の課題解決と山林機能の維持を目的に「森林管理制度」を創設し、森林の経営管理を林業経営者等に委ねることを可能にすると共に、森林整備等に必要財源を安定的に確保する「森林環境譲与税」の創設を行いました。

森林組合としては、このような行政の動向に柔軟に対応しつつ林業が有する公益的機能を持続的に保持すると共に、森林整備や林産事業に対しては、地域林業の担い手としての責務を果たしながらの対応を行うものとし、組合経営の安定化と組合員の社会的地位の向上に努めて参りたいと考えております。

組合員各位のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

# 特集



## 長野県立武道館新築工事に携わりました

令和2年2月に長野県立武道館が佐久市猿久保に完成致しました。延べ床面積は、12,379平方メートルとたいへん大規模な建築工事となりました。着工は平成30年7月からで、当組合が携わった木工事だけでも8カ月の期間を要し、完成まで20カ月かかりました。

拠点施設として、素足で競技する武道に合った「しつらえ※」となっており、柔・剣道場6面がとれる主道場、柔道場、剣道場を備えているほか、武道以外のコンサートやイベントなど多目的に利用できる空間を確保していますし、災害時には避難所としての機能と、佐久地域の「物資拠点」となる仕様も有しております。



柔道場



トラス構造

環境や景観に配慮した設計となっており、長野県産や佐久地域産の木材がふんだんに使われております。木材使用量は、カラマツ、アカマツ、スギなど合わせて622㎡（製品材積）に及びます。

主道場に入りますと、まず、目に映るのが天井のトラス構造です。このトラスは、カラマツ集成材と鉄骨のハイブリッド構造となっており、ダイナミックな木質空間を演出しております。その他にも内装の床材や壁材、外装のルーバーにも木材が使用されております。

※しつらえ…用意・準備・仕様



## 飯綱町産材で「いづなマルシェ むーちやん」がオープンしました

飯綱町三本松の県道長野荒瀬原線沿いに新たな農林畜産物直売施設が建設されました。施設の名称は「いづなマルシェ むーちやん」で、5月30日にオープンしました。直売所では、地域で収穫された旬の新鮮な野菜やリンゴ・桃などの果物、お米、ジャム

などの加工食品等が販売されております。また、今年度は同じ敷地内に農産物加工施設の建設も予定されております。

飯綱町産のカラマツ材が使われ、構造材にカラマツ集成材をおよそ47㎡ほど（製品材積）、その他にも建具材などに使用されております。木のぬくもりに包まれた施設で、飯綱町のおいしい農産物をお買い求め下さい。

直売所の構造は、木造平屋建てで扇方の建物で、建築



店内の様子



外観



## 高性能林業機械メンテナンス研修を 開催しました

当組合では組合員の皆様の森林を搬出間伐等により有利に販売するため、高性能林業機械を多数導入し生産効率の向上に努めております。現在25台の高性能林業機械を保有し、中には10年以上経過した機材もあり故障や修理も増えている事と、現場の技能職員から「実践的なメンテナンス研修の開催」を希望する声もあり、今回長野県林業労働財団の「持続的な林業経営の確立支援事業」に

よる支援を受け、3月11日に林産班全員(29名)を対象としたメンテナンス研修会を長野県森林組合連合会北信木材センターの土場をお借りし開催しました。

講師には当組合で使用している機材の各メーカーから専門の指導者と、日頃、現地でメンテナンスを行っている会社の代表者をお願いし、ハーベスタ、スイングヤーダ、フォワーダ、グラップル付きトラッ

クの実機による具体的な指導を行って頂きました。

研修では、基礎的なグリスアップの重要性から、機械本体の整備、林業専用の特殊なグラップルやハーベスタヘッドの整備にとどまらず、フォワーダの過積載による危険性や、積載する丸太重量の判読方法等の安全にかかわる具体的な指導を頂きました。

参加した技能職員からも「あやふやだった点がスッキリと分かった、大変勉強になった」と好評でした。研修内容は、テキストとして各支

所に配布し、メンテナンス知識の共有が図れると共に、組合全体のレベルアップが出来ました。

今後も引き続き現場に即した研修を実施し、「安全で低コスト」の木材伐出作業を実現することにより、組合員の皆様に喜んで頂けるよう精進して参ります。



座学(4名の講師とディスカッションを行いました。)



フォワーダ(グラップルの整備について指導頂きました。)



スイングヤーダ(ドラムや油圧系統について指導頂きました。)



ハーベスタ(ハーベスタヘッドのメンテナンスについて指導頂きました。)

理事会開催

第4回理事会

開催日 令和1年12月12日

《議事》

第1号議案 第三四半期の事業報告と年度末見込みについて

第2号議案 職員等の年末賞与の支給について

第3号議案 役員改選について

《承認議案》

第1号 理事との利益相反契約について

《報告事項》

第1号 専門委員会からの報告について

第2号 11月末の事業進捗状況の報告について

第3号 債権回収の件について

第4号 令和2年度高性能林業機械導入推進事業の要望について

第5号 組合契約規程に伴う入札参加資格者名簿について

第6号 トムソーヤ(信州新町地場産内飲食店)閉店に伴う組合貸借物件返還の申入れの件について

第5回理事会

開催日 令和2年3月5日

《議事》

第1号議案 令和1年度資産査定結果及び貸倒引当金(案)について

第2号議案 令和1年度決算及び剰余金処分(案)について

第3号議案 令和2年度事業計画(案)について

第4号議案 第19回通常総代会の招集及び総代会に附議の事項について

第5号議案 定款の一部変更について

第6号議案 附属書の一部変更について

第7号議案 (附属書)長野森林組合役員選任規程、附属書)長野森林組合総代選挙規程)

第8号議案 役員退任慰労金の贈呈について

第9号議案 退任役員に対する感謝状の贈呈について

第9号議案 固定資産の取得について(グラップル付トラック)

第10号議案 固定資産の処分について(フォワード)

第11号議案 長野県による森林組合常例検査の指示書と改善内容について

追加議案 理事会の議決事項の準用に関する内規(案)制定について

《承認議案》

第1号 理事との利益相反契約について

《報告事項》

第1号 専門委員会からの報告について

第2号 債権回収の件について

第3号 役員推薦会議開催報告の件について

第4号 組合員の加入・脱退の件について

第5号 第19回通常総代会の開催要領等について

第6号 年末賞与の支給状況について

第7号 決算賞与の支給状況について

第8号 組合貸借借物件(トムソーヤ(信州新町地場産内))の件について

第9号 長野森林組合運動方針の進捗状況について

第1回理事会

開催日 令和2年4月1日

《議事》

第1号議案 仮議席の指定について

第2号議案 組合長理事ほかの選任について

第3号議案 代表理事の選任について

第4号議案 議席の決定について

第5号議案 地区担当理事及び各専門委員会委員の選任について

第6号議案 理事の各人別報酬額の決定について

第7号議案 組合加入金の額の決定について

追加議案 固定資産の取得について(エンジン式コンプレッサー)

《承認議案》

第1号 理事との利益相反契約について

監事会開催

第1回監事会

開催日 令和2年4月1日

《議事》

第1号議案 代表監事の選出について

第2号議案

第3号議案

監事の各人別報酬額の決定について

令和2年度監査会等の計画について

令和1年度 損益計算書・令和2年度 損益計画 (単位:千円)

令和1年度実績		事業区分	令和2年度計画	
取扱高	損益		損益	取扱高
12,844	△ 6,724	指 導	△ 10,493	12,295
501,738	92,612	販 売	93,293	563,255
379,258	7,642	加 工	2,284	171,893
445,451	26,875	森 林 整 備	29,304	223,339
298,015	98,619	利 用	166,358	326,755
615	615	福 利 厚 生	490	490
28,611	5,042	購 買	4,971	32,519
2	2	金 融	0	0
1,666,534	224,683	合 計	286,207	1,330,546
	221,608	事 業 管 理 費	282,436	
	3,075	事 業 利 益	3,771	
	591	事 業 外 損 益	1,920	
	3,666	経 常 利 益	5,691	
	5,313	特 別 損 益	△ 2,430	
	△ 1,802	法 人 税 ・ 住 民 税 ・ 事 業 税	△ 2,200	
	7,177	当 期 剰 余 金	1,061	

※取扱高には、受託事業含む

令和1年度 取扱実績 (単位:ha)

木材の取扱量 (m)	森林整備	地 拵	新 植	下 刈	除 伐	保 育 間 伐 I	間 伐	搬 出 間 伐	つる切	その他	計	
販売事業	4,400	受託	1	1	15	0	0	148	214	0	56	435
林産事業	7,783	請負	32	48	41	2	28	10	102	30	38	331
受託林産事業	20,877	治山	0	1	0	2	0	9	0	0	0	12
林産請負事業	11,149	合計	33	50	56	4	28	167	316	30	94	778
加工事業	2,498	(ベレット 274ト、オガ粉 1,170m <sup>3</sup> 含む)					作業路開設延長			20,378m		
合計	46,707											

長野森林組合 令和2年度重点項目

1. 経営理念として、組合員のための組合であることを基本に組合員奉仕に努める。
2. 経営方針として、防災・減災の観点から、緑豊かで災害に負けない、健全な森林づくりと管内から産出された木材の有効利用を図り、地域の森林・林業の担い手として、その振興に貢献する。
3. 行動指針として、「誠意と感謝の心を原点に、常に問題意識と自己研鑽意識をもって挑戦し、「信頼」され「責任」のある行動を基本に、掲げた経営方針と共通目標達成に向け、利他の精神でチームワークを発揮し、経営の安定と改善・改革を図りながら更なる成長に努める。

# フォレスト情報



## 安全衛生推進委員研修会を実施しました

3月18日(水)安全衛生推進委員会の視察研修を、南佐久郡佐久穂町の(株)吉本様を訪問しストローク型ハーベスタの稼働状況の視察を主目的に行いました。

(株)吉本の創業は明治43年で、群馬県と岩手県にも事業所があり、国有林などの素材生産と造林、木材加工販売を行っており、全国に社有林(約6,000ha)も所有し岩手県の社有林はFSC森林認証を取得している。東京オリピック有明アリーナ建設工事に木材を供給したり、昨年十一月に行われた皇位継承の重要祭祀である「大嘗祭」で皇



(株)吉本 由井社長様から説明をして頂きました



現場社員の方から機械の特性の説明をして頂きました

居東御苑に特設された「大嘗宮」建設に「良質の信州カラマツ皮付き丸太」を細心の注意を払ってチェーンソーによる造材作業により供給されたそうです。自社有林も含め安定的に木材を質・量共に供給出来る体制があることは非常に強みであり、現場社員は月給制でノルマがなく査定による賞与との事で労使の信頼関係がうかがえ、労働災害もないとの事で社員の質の高さも感じられました。続いて、浅間山の麓の御代田町の国有林立木販売伐採現場に移動し高性能林業機械の稼働状況を視察し

ました。ハーベスタはケスラー製のストローク型のみを使用しており、現場社員の方は、枝払いに強い力を発揮するので具合が良いが、能力をフルに発揮させるには「造材前の集木作業の効率を上げる事が課題」だと言われておりました。

視察後の委員による意見交換では、ストローク型ハーベスタの造材スピードは遅いが枝払いの力が強いので、当組合所有機のヘッドはKETO製が多いが、それぞれのメリット、デメリットを検証し今後の機械導入を考えていく事で意見統一がされました。



## 令和2年度第1回安全衛生推進委員会を開催しました

昨年4月1日付で新たに安全衛生推進委員会を設置しました。組合の統一した安全意識の向上を図り、所属する支所の労働災害防止に努め、安全衛生活動がスムーズに推進できるよう、本年度も新たに委員が選任され、4月24日(金)第1回会議を開催し、各支所からの要望を検討し安全衛生推進活動を決定しました。

### ◎安全衛生推進委員名簿

- ・長野支所 田沼 宏之 (新任)
- ・須高支所 原 弘明 (再任)
- ・更埴支所 渡辺 澄男 (新任)
- ・西山支所 松本 丈明 (新任)
- ・北部支所 吉富 慎悟 (新任)
- ・西山事業所 丸山 雄二 (再任)

## 木 材 市 況

第1073回 令和2年5月13日 長野県森林組合連合会 北信木材センター

樹種	長さ(m)	末口(cm)	平均値~高値(円/m)	平均石値(円)	備 考
スギ	3.0	16~18	9,000 ~ 13,000	2,500	需要あり、直造材で
		20上	11,000 ~ 13,500	3,060	直造材で
	4.0	13下	4,500 ~ 5,500	1,250	需要あり、直造材で
		22~28	12,000 ~ 13,000	3,340	直造材で
カラマツ	4.0	30上	11,500 ~ 16,000	3,200	直造材で
		13下	6,000 ~ 11,000	1,670	需要あり、直造材で
		14~18	9,000 ~ 12,500	2,500	需要あり
		20上	14,000 ~ 16,000	3,900	需要あり

(1石 : 0.27826m<sup>3</sup>)

市場では、スギについては、全国的に需給バランスがとれず、だぶつきがみられます。特に4mの尺上材は売れにくい、中目良材は安定しています。

カラマツについては、依然として安定しており需要がありますので、丁寧な造材を心がけて頂き積極的な出材依頼があります。

当組合では、森林経営計画団地内の搬出間伐推進により森林所有者皆様への利益還元而努力していますので、森林経営計画樹立にご理解ご協力願います。



## 新人職員の紹介



森林づくり推進課 技師  
倉石 梓

私は、4月1日付で採用となり森林づくり推進課に配属となりました。前職は鉄工所の事務をしていましたが、ご縁があり入組させて頂くこととなりました。地元・長野市出身ということもあり、幼い頃から親しんだ身近な山や森林に携わる仕事に就くことができ、とても嬉しく思います。不慣れな点も多く、皆さまにはご迷惑をおかけするかと思いますが、一日でも早くお役に立てるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



北部支所 技師  
佐々木 道誉

私は、4月1日付で採用となり、技師として北部支所に配属となりました。今まで林業に携わった事が無く、林業に関する知識や経験は全くありません。支所での業務や現場での作業は上司・先輩方から教えて頂いています。就職してから2か月が経ちますが、専門的な知識が必要とされる業務も多く、まだまだ慣れない事だらけですが、出来るだけ早く仕事を覚えて役に立てるよう努力していきたいと思っておりますので何卒よろしくお願い致します。



更埴支所 技能職員  
西入 慎也

2月1日付で技能職員として採用となり、更埴支所配属となりました。前職でも林業を10年間務めて来ましたので今までの経験を生かし長野森林組合に1日でも早く貢献したいと思っております。林業は大変やりがいのある仕事ですが危険も多いため、常に安全を意識して作業に従事していきたいと思っております。これから林業の担い手として千曲市・坂城町の皆様に認めてもらえるように頑張ります。

## 組合からのお知らせ

### ◆名義変更等の届出について

次のような事例が該当する組合員の方は、最寄りの支所等にご連絡下さい。

- ・組合員本人の方の死亡等により、名義人が実在しない方。
- ・また、後継者の方が権利を継承されている方。
- ・引越しや転居等により住所を変更された方。
- ・山林を売却し権利が別の名義人に移っている方。
- ・山林を売却したり、購入して所有面積が変更になっている方。

## 土手の草刈り時の足場として円柱丸太を活用しませんか

【西山事業所】

中山間地域では、農地の基盤（耕地）整備が進み「傾斜が急で長い畦畔となり、草刈時の足場確保が容易でなく危険を感じる水田、畑が見受けられます。」

写真のように、当組合で円柱加工したカラマツ間伐材を足場（木杭、横木）として施工し利用している地域があります。足場が確保でき「安全に作業が出来た」とのお声を頂くと共に、口コミで新たな耕作組合からも注文を頂いております。

円柱丸太の直径は、9〜10cmなど各種ありますし、防腐加工を行うと経年による劣化も防げます。その他の土木用資材もごさいますので、寸法・価格・納期などお気軽にお問い合わせ下さい。

(西山事業所：TEL026-269-2124)



## 人事異動

■異動 2年4月1日付

- ・長野支所長 春日 賢一（更埴支所長）
- ・更埴支所長 池田 真朗（長野支所長）

■採用（一般職員）

- ・森林づくり推進課技師 倉石 梓 2年4月1日付
- ・北部支所技師 佐々木道誉 2年4月1日付
- ・西山支所嘱託 小山 良子（再雇用） 2年4月1日付

■採用（技能職員）

- ・更埴支所 西入 慎也 2年2月1日付

■退職（一般職員）

- ・営業企画課技師 伊藤 吉治 2年3月31日付
- ・森林づくり推進課嘱託 名取 勝彦 2年3月31日付

■退職（技能職員）

- ・更埴支所嘱託 大日方 猛 2年3月31日付
- ・西山支所嘱託 小山 良子 2年3月31日付
- ・鬼無里事業所食品加圧係再雇用 徳高 澄 2年3月31日付
- ・森林づくり推進課技師 柳原 美江 2年4月30日付

■退職（技能職員）

- ・北部支所 向原 悠歩 2年3月31日付

## 編集後記

◆新型コロナウイルス感染症により住宅着工戸数の減少など木材需要の不透明感が増しており、合板工場等の大型製材工場では減産が始まり、スギ材を主として木材生産調整の要請があります。当組合でも、木材生産を伴わない事業へのシフトが必要であり大きな影響が出ております。

◆「新型コロナウイルス感染症拡大緊急事態宣言」が5月25日解除されましたが、宣言解除による「一気の緩み」により感染再拡大への警戒が必要ですが、引き続き感染防護対策に取組みながら「新たな日常をつくる発想と努力」が重要です。当組合でも、感染者を出さないために「新型コロナウイルス感染症拡大防止等に向けたガイドライン」を作成し取組んでおります。